街道を歩く

中山道：青墓ー垂井宿ー野上

禅憧寺　薩摩の金鐘寺の正積和尚が開基
竹中一族とその家臣の菩提寺。

岩手

竹中氏陣屋跡
青蓑記念館

竹中半兵衛重治が没後嫡男
重門は関ヶ原の役で家康方に
味方し五千石を安堵され旗本
なった。菩提山城を下りここに
陣屋を構えた。

陣屋跡

新井

漆原

下町

伊吹

脇本陣(金岩家)
江戸初期にはなかったが何時できたかは定かでない。明治になり金岩家が大阪に移る。門、玄関は本龍寺に

本龍寺前高札場跡

垂井宿　（赤坂宿より１里12町）
古くから東山道、鎌倉街道の宿場として栄えたことから中山道の当初からあったと思われる 美濃路との分岐地もあり古くから交通の要衝である。
町並みは東の見付から西の見付までの6町あまり、東町、中町、西町に分かれている五街道で最初に大八車が許可された宿である。

府中

垂井

西の見付
本龍寺
高札場跡
旅館亀丸屋
油屋跡
紙屋塚
八尺地蔵堂
長屋屋敷跡
脇本陣跡
問屋場（金岩家）
本陣跡
東の見付
垂井の清水
JR垂井駅
相川

国分寺
天平13年(741)聖武天皇は諸国に国分僧寺
国分尼寺造営の詔勅を下した。
ここ美濃では青墓に僧寺、平尾に尼寺が置かれた。律令体制の安定強化をすべく"鎮護国家"に主眼を置き僧寺は「金光明四天王護国寺」尼寺は「法華滅罪寺」とした。
これには天平7年(735)留学から帰国した僧玄坊影響が大きいとされる。

平尾御坊　美濃、尾張、伊勢の一向宗の中心だった伊勢長島の願證寺が信長との戦いに敗れ赤坂そしてここに移る。

美濃国分寺跡

平尾
国分尼寺
願證寺
教覚寺
青野町
美濃国分寺道標
平尾御坊道標
一里塚碑
熊坂長範物見の松
綾戸古墳

追分　中山道と美濃路の分岐
宝永6年(1709)地元奥山氏建てる

野上
東海道本線
日守西
出荷場
21
班女観音堂
新幹線

垂井の一里塚
江戸より112番目
中山道国指定文化財二基のうちの一つ、榎が桜に代っている。

春王・安王の墓

永享の乱(1438)で敗れた足利持氏の遺児、春王丸・安王丸は結城合戦で捕らえられ京都に護送中処刑される。

本陣
栗田家、酒造業も営む、安政9年焼失再建され明治に一時学校となる。
本陣門は大垣市荒崎町に移築
跡地に安田歯科医院。

旅篭屋亀丸屋
安永7年(1778)創業、鉄砲窓
格子窓、部屋の欄間など往時のまま

垂井の清水
樹齢800年の大ケヤキの根から湧き出る泉。
大和武尊が伊吹山征伐の折り毒気に当たり失神した時この清水で意識を戻したという"居醒めの清水"ともいわれている。
文人、俳人、旅人の憩いの場であった。

紙屋塚
奈良時代ここに紙屋が設けられ紙の生産がおこなわれた。
美濃和紙発祥の地と言われている。

朝倉山真禅院

行基が創建、南宮大社の別当寺
関ヶ原合戦で焼失。家光が再建。
明治の神仏分離令でこの地に移る。
本堂、三

宮代

南宮大社
祭神 金山彦の命 旧国幣大社で美濃国一宮、鉱山、金属業の総本宮として崇敬されている。
創建は神武天皇即位の年、関ヶ原合戦で社殿全て焼失、寛永19年(1643)3代将軍徳川家光が再建。

一里塚